

平成22年度受験生のために

鹿児島大学法文学部

Faculty of Law,
Economics and Humanities





法文学部棟



東屋（同窓会寄贈）

Contents

- 法政策学科（5頁から）
- 経済情報学科（11頁から）
- 人文学科（17頁から）

価値観を見つける旅へのいざない

法文学部長 木部 暢子



大学進学を目指しているみなさん。みなさん方は大学に何を求めておられるのでしょうか。資格ですか。知識ですか。技術ですか。確かに、これらは社会で生きていくために必要です。しかし、これだけならば大学でなくても学ぶことができます。鹿児島大学法文学部ではもっと別のこと、ここでしか学べないことをみなさん方に提供したいと考えています。それは、単に知識や技術を習得するだけではなく、みなさん方が自分の価値観を作り上げ、その価値観をあらゆる場に活かしていくことができるような教育です。

私たちは日常生活のさまざまな場面で判断を行っています。小さな例で言えば、今度の日曜日に何をするか、何処へ行くか、大きな例で言えば、みなさん方が今まさに直面している、どの大学のどの学部を受験するか、社会に出れば、毎日の仕事の中で山ほどの判断が待っています。判断のより所は、まずは知識や経験です。しかし、いくら頑張っても、一人の人間が身に付けることのできる知識の量や経験の量は限られています。一方、社会は多様で、ますます複雑化するばかりです。とても一人の知識の量や経験の量では追いつきません。そこで重要になってくるのが価値観の形成です。

人は誰でも、一つ一つのことに対して、これは良い、これは悪いといった判断を下すための何らかの基準を持っています。価値観とはこれらの判断基準の総体、つまり、一本筋の通った価値の判断基準のことです。これがあれば、思いがけない出来事に遭遇しても、一定の筋道の中で判断を行うことができます。知識や技術も重要ですが、自分なりの価値観をもつこと、それによってもものごとの奥に隠れている価値を見出すことが、何かを判断するときには重要になってくるのです。

鹿児島大学法文学部では、約90人の教員がさまざまなプログラムを準備して、みなさん方が価値観を身に付けるためのお手伝いをします。地域マスコミと協力連携して行う「マスコミ論」の授業、法文学部同窓生や専門家を招いての「キャリア科目」の授業も、みなさん方に大きなヒントを与えてくれるに違いありません。

大学生活は価値観を見つける旅です。最終的にどのような価値観を作り上げるかは、あなた方一人一人の旅のしかたにかかっています。

法文学部のあゆみ

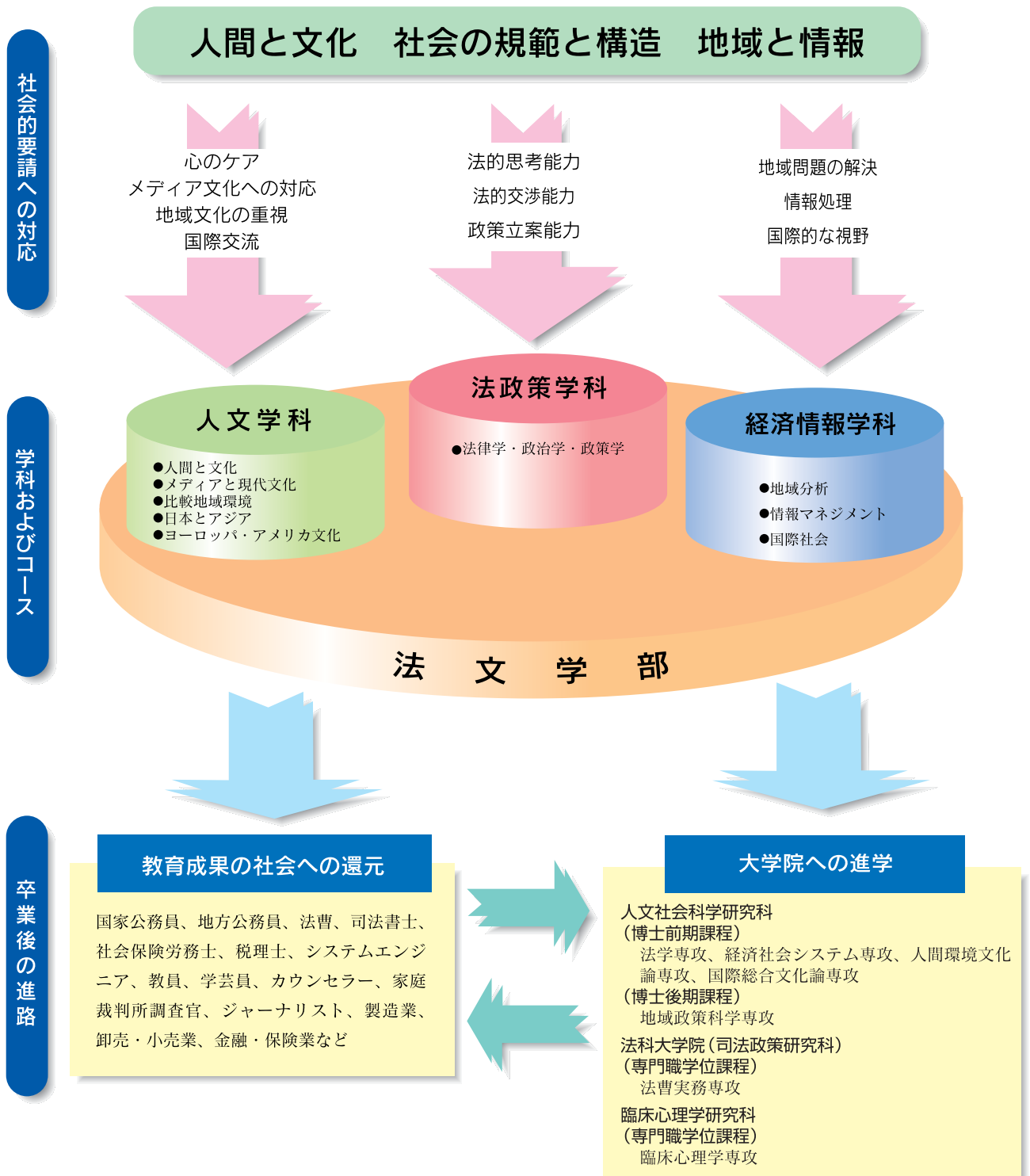
- | | | | |
|---------|--|---------|--|
| 1901年3月 | 第7高等学校造士館設置 | 1992年4月 | 大学院法学研究科において教育方法の特例(昼夜開講制)を実施 |
| 1946年3月 | 第7高等学校と改称 | 1997年4月 | 法学科が法政策学科に、経済学科が経済情報学科に、人文学科は5コース体制に発展 |
| 1949年5月 | 鹿児島大学設置。第7高等学校を母体とし、文理学部(一般教養部を含む)が設けられ、文学科・社会学科・理学科が置かれる。 | 1998年4月 | 大学院人文社会科学研究科設置 |
| 1965年4月 | 鹿児島大学法文学部、理学部、および教養部を設置。法文学部に法学科・経済学科・文学科が置かれる。 | 2002年4月 | 大学院人文社会科学研究科臨床心理学専攻(独立専攻)設置 |
| 1979年4月 | 大学院法学研究科設置
文学科11学科目を改組 | 2003年4月 | 大学院人文社会科学研究科地域政策科学専攻(博士後期課程)設置 |
| 1979年4月 | 人文学科6学科目に改める。 | 2004年4月 | 法科大学院(司法政策研究科)設置 |
| 1986年4月 | 大学院人文科学研究科設置 | 2007年4月 | 大学院臨床心理学研究科設置 |
| 1992年4月 | 人文学科6講座を4大講座に改組 | | |

法文学部の理念と教育

現代社会は、急速に国際化・情報化が進み、環境や人間関係をめぐる複雑な問題の対応に迫られています。また、地域でも少子高齢化の問題や地域活性化の問題など解決すべき課題は山積しています。

法文学部では、このような現代の諸問題に適切かつ積極的に対応できる実践的な能力を持ち、人間に対する深い洞察力を備えた人材の育成をめざします。

学科編成の原理





法文学部の理念

南九州の情報化、国際化、および地域経済構造の変化や過疎化、高齢化などの諸問題に適切に対処できる現実的な政策能力をもつ学生の育成をめざします。

- ①新しいパラダイムにもとづく教育・研究による現代社会のニーズへの対応能力の向上
- ②科学技術の偏重ではなく、人間の尊厳・倫理の重視
- ③コンピュータによる情報処理能力の開発

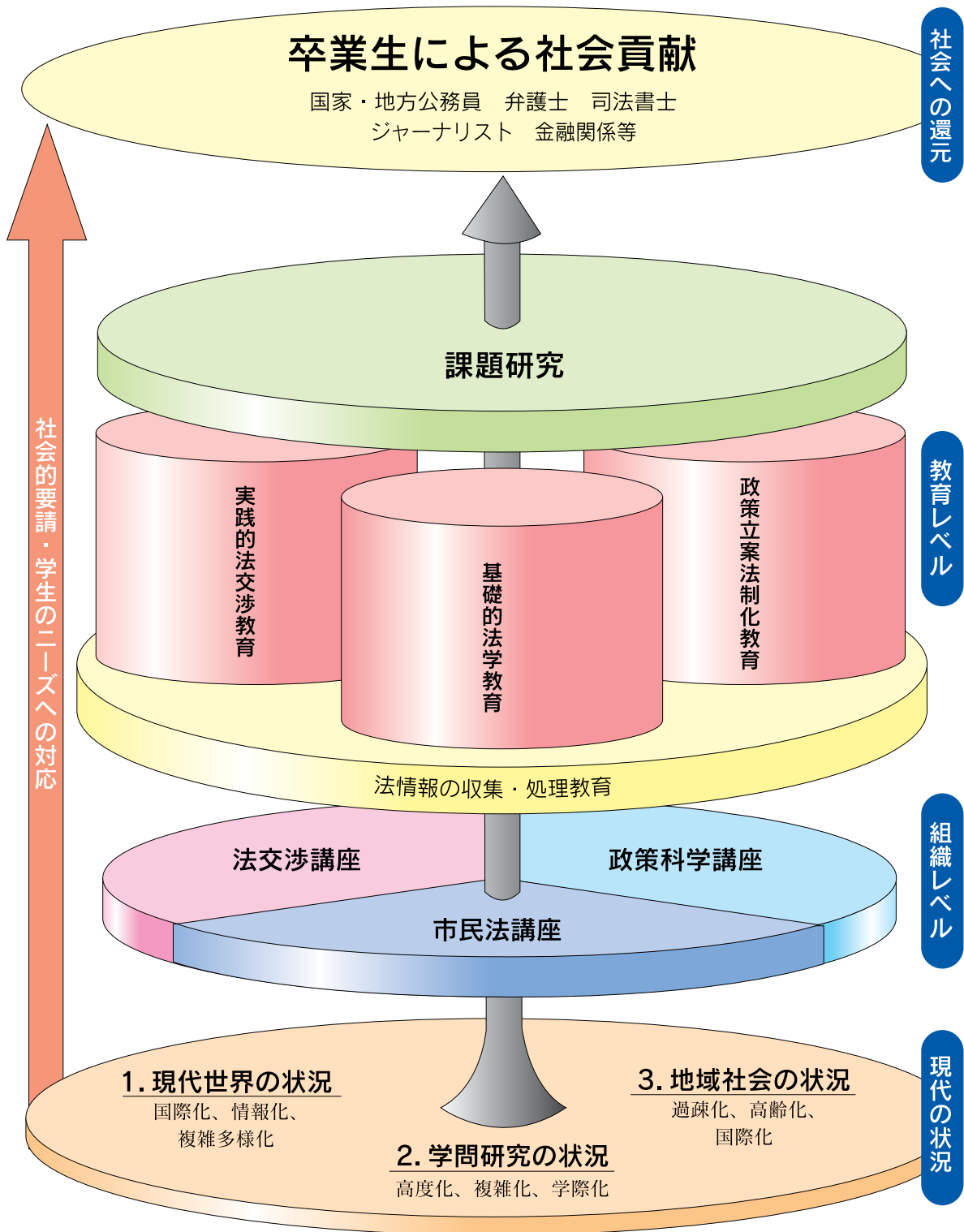
法文学部の教育の展開

社会の規範と構造、地域と情報、人間と文化の学科編成の原理にもとづき、新しい学問・研究・教育体系による情報化、国際化などの地域社会の変化に対応できる人材養成のための教育を行います。

- ①法政策学科では、「実践的法交渉教育」、「政策立案法制化教育」等を充実させた現代型法学教育の展開
- ②経済情報学科では、少人数教育、情報教育を基礎に3つの履修モデルによる問題解決型教育の推進
- ③人文学科では、人間と社会の相互作用の認識や心のケア、多文化社会やメディア文化、地域の理解と文化の育成、国際交流など多方面の教育の充実

法政策学科

法政策学科の全体イメージ



法政策学科は、法律や行政の専門家の養成という社会のニーズに応えるだけの質の高い法学教育を行うとともに、地方行政や金融・保険など様々な分野においても応用可能な法的能力と政策能力を兼ね備えた人材の育成を目指しています。

このような観点から、下図に掲げる能力の育成を念頭に、法学教育を展開しています。



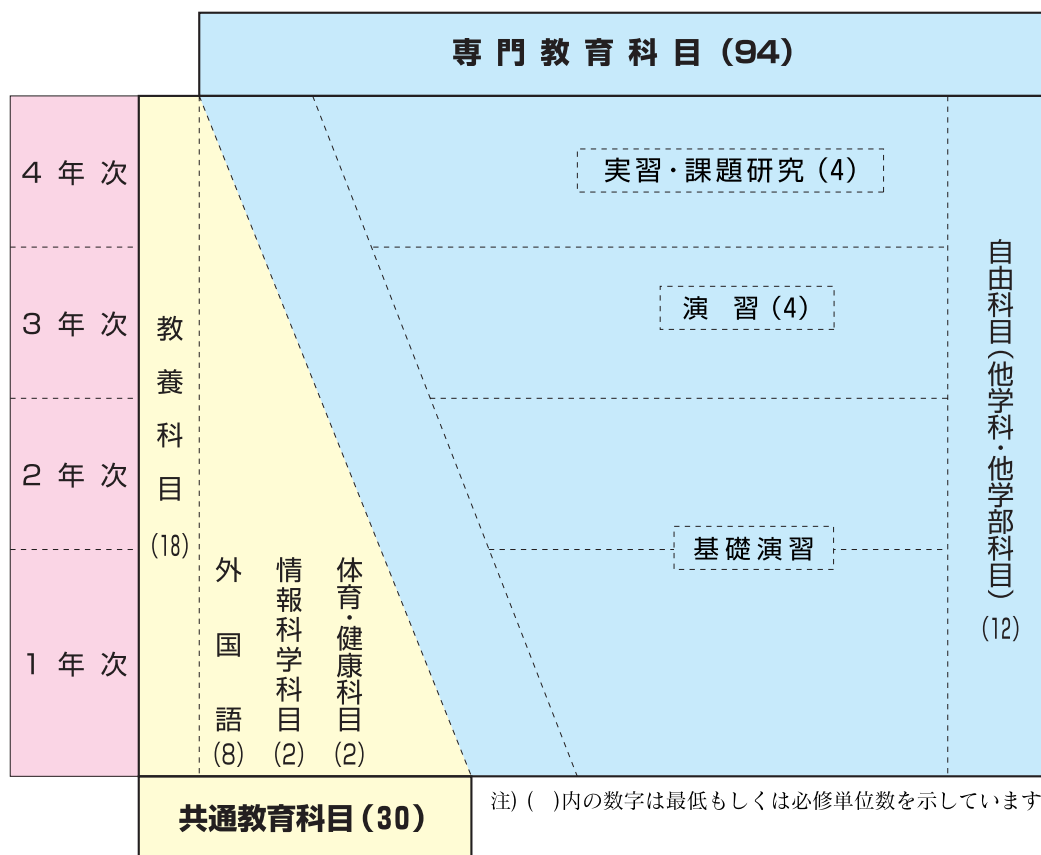
特徴的な科目例

以下では、前のページに記した能力の育成のために開設されている具体的な科目の例と、それらについての簡単な説明を記しておきます。

<p>基礎的な法的思考能力の育成</p>	<p>憲法 民法 犯罪と刑罰 民事訴訟法 刑事訴訟法 など</p> <p>六法科目を中心とした様々な法律科目の学習を通じて、法律というものが概ねどのような内容になっているのか、そして法的なものの考え方というのはどのようなものであるのかを学びます。このような六法科目を学習して、その内容やものの考え方が理解できれば、その知識は、もはや分野を問わず様々な法律問題を解決するために応用し役立てることができるはずです。これらの科目の学習を通じて、じっくりと将来のための基礎を作ります。</p>
<p>実践的な法的交渉能力の育成</p>	<p>ディベート論 演習 外国語表現法 など</p> <p>これらの科目の学習を通じて、みなさんは法的に議論する能力を身につけることが期待されています。法的な議論というのは、裁判所内だけで行われるものではありませんので、広く裁判外での交渉も含めた議論を念頭に置いています。先の六法科目の履修を通じて、既に頭の中で法律論を展開する能力は養成されているはずで、ここではそれをベースにしながら、他人との法的な交渉においてその能力を活かせるようにするのです。同時にそのような経験を通じて、六法科目についてさらに深く理解してゆくことが目指されています。</p>
<p>地域行政の政策立案・法制化能力の育成</p>	<p>法政策論 自治体行政法 など</p> <p>政治経済の基礎知識を学び、それを前提としつつ地域社会の様々な問題を対象として、その制度的解決を検討することを学びます。これらの科目では、本学科の学生が将来、地方公務員として社会に巣立っていった場合に、彼らが地方自治の現場で様々な政策課題に創造的かつ的確に対処できるよう、必要な能力を習得させることが目指されています。</p>
<p>21世紀社会人として豊かな感性の育成</p>	<p>共通教育科目 他学科開講科目 他学部開講科目</p> <p>人文科学や自然科学の科目履修を通して、人間と自然・社会についてより深い理解と洞察力を身につけます。法政策学科の専門科目の履修によって得られる知識に加えてさらに広がりや深みのある知識を修得してもらいたいと考えています。</p>

履修計画

大学を卒業するためには、各学部・各学科ごとに定められた要件をクリアしなければなりません。その要件とは、通常は、所定の数だけ単位を取得することです。各科目ごとに、それが何単位か（1単位であったり、2単位であったり、4単位であったりします）決められていて、4年の終わりのときに今まで取得した単位の合計が一定数以上にならないといけないのです。また、所定の単位数とは別に、各年次で必ず受講しなければならない科目も定められています。法政策学科の場合、それは下の図のようになっています。この図だけからではイメージがわきにくいかもしれませんが、他学科、他学部と比べて、かなり自由なものとなっています。これ程までに自由なのは、法政策学科では、学生の判断・主体性を育み尊重することが目指されているからです。



法政策論の講義風景

社会の動きが見えてくる。
社会のしくみが見えてくる。
社会を動かす力が見えてくる。
いまこそ、君の手に、法律学と政策学を。

★ わが国最初の「法政策学科」

21世紀の幕開けとともに、新しい社会を創ることに取り組む段階に入りました。新たな社会の創造には、ますます法の役割が大きくなるといわれています。こうした中で社会は、実践的な法的能力をもち、問題解決を図るための政策形成能力を有する、総合力のある人材を求めています。その状況のもとで、従来の法学教育は、法政策実現のために社会科学を総合的に学ぶ場に変革すべきであると指摘されています。

この教育理念をいち早く実行すべく鹿児島大学法文学部法政策学科は、わが国で最初に学部・学科の名称として「法政策」を掲げました。

★ 実践性を重視した法政策学教育

法政策学科では、時代の要請に応える人材を育成するため、絶えず様々な工夫や新しい取組を行っています。全国の法学教育機関の中でもいち早く法情報教育に取り組んできています。

また、地元の自治体等と連携し、インターンシップ制による現場での実体験を授業の一環として取り入れています。

法学の専門知識についても、1年次から憲法、民法、刑法といった専門科目の講義を受けることができます。また、専門的な法律科目においては、単に知識を教えるのではなく、それを現代社会の諸問題に実践的に用いることを意識した講義にも力を入れています。その一環として、県庁の幹部職員や税理士といった豊かな実務経験を持つ専任教員による授業を配置しています。さらに、3年次から始まる「演習」という授業では、受講生を10名以下に絞って各人が専門的なテーマについて深く学ぶことを可能にしています。

法政策学科のカリキュラムは、政策系の科目や語学系の科目も含めて自由選択科目を大きく増やしており、時代の要請に応えるための学習計画を学生自身で作りに出せることが大きな魅力となっています。

★ 法科大学院との教育連携

政府の司法制度改革審議会は、法科大学院（ロースクール）の創設と、司法試験合格者を、今までの数倍に当たる、毎年3000人程度にまで急増させることを提言しました。その上で、平成18（2006）年より実施されている新司法試験においては、法科大学院の修了が前提となり、医師国家試験が大学において医学の正規の課程を修めて卒業した者等にしか受験資格がないのと同様の制度となったのです。反面、法科大学院で法曹としての基本的な知識・技能及び法律実務を修得すれば、かつてより相当高い可能性で新司法試験に合格出来ることとなり、とりわけ地方出身者には、大きな有利性が生じる、と期待されています。

鹿児島大学においては、平成16（2004）年4月に法科大学院（司法政策研究科）が設置されましたが、法政策学科では、教員が相互に授業を行うことを含め、法曹界志望者のためにも法科大学院と連携した教育への努力をしています。

刑法の講義風景



演習風景



演習風景



先輩からのメッセージ

私が社会人になって一番感じることは、大学時代は学問に専念できるとても貴重な時間だということです。専攻科目の知識を身に付けるのはもちろんですが、法文学部では多種多様な講義を学べますので、興味を持った分野には積極的にチャレンジすることをお勧めします。その時は関係がないように思えても、大学時代に学んだ知識はいつか必ず役に立つときが来ると思います。また、学問以外にもサークル活動やアルバイト、趣味や旅行といったことに打ち込めるのも大学時代の醍醐味だと思います。これらを通して出会う人々や出来事が、皆さんの世界を広げ、自分自身の価値観を形成する一助となってくれます。この経験こそ大学時代にしかできないことかも知れません。私が卒業した法政策学科においては、現代の公務員に求められる様々な政策形成を講義を通して学ぶことができたので、今では大変有意義に感じています。

私は現在、県の土木部で都市計画に関する仕事をしています。仕事は多岐にわたり、様々な分野からの広い見識が必要になるときもありますが、大学時代に培った知識と経験を活かすことができ、非常にやりがいを感じています。皆さんも鹿児島大学で学んだものを県政に活かしてみたいかでしょうか。たくさん先輩方と共に、皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。
(鹿児島県職員 大迫弘樹：平成15年度卒業)

私は、現在、長崎で社会人生活を楽しんでいます。時折、大学時代を振り返り、いつも「大学に行って本当によかったな」と感じます。それは大学には次の2つがあったからだと思います。

まず、大学生活は出会いの宝庫だったことです。学業、サークル活動を通じて、またアルバイト先や就職活動において本当に多くの人に出会うことができました。多くの人と出会うことで視野が広がり、自分の活動範囲も広がると感じます。今でも大学時代に知り合った友人・知人と連絡をとりあい、多くの刺激を受けています。

つぎに、自分の時間が多くあったことです。大学生活は目標をたて計画的に行動すれば非常に有意義なものになります。社会人になるとなかなか自分の時間がとれず、大学時代にしておけばよかったと思うことが多くあります。

特に、興味のあることについて、もっと勉強をしておけばよかったと感じます。沢山ある自分の時間を活かし、是非何でも積極的に取り組んで下さい。

最後に、皆さんにはそれぞれ夢があると思います。職業や職種といったものだけではなく“自分が将来なりたい姿”を叶えるべく、在学中に色々な人と出会い、多くのことを学んで欲しいと思います。皆さんが悔いの残らない大学生活を過ごされるよう応援しています。
(製造業勤務 諏訪下沙代：平成19年度卒業)

卒業後の進路

平成21年3月の本学科卒業生のうち進路が判明している人の15%が、国家公務員または地方公務員として活躍しています。民間企業への就職者のなかでは、金融・保険業等へ就職する者が目につきます。そのほか、製造業関係への就職者、大学院（法学専攻）や法律専門職を目指す法科大学院への進学者など、その進路は多岐にわたっています。

卒業生の進路

産業別	国家・地方公務員	金融・保険	製造業	運輸・通信	サービス業	卸売・小売業	その他	大学院
構成比 (%)	15	27	13	7	13	10	5	10

(平成21年3月卒の産業別就職状況)

地区別	九州地区 (鹿児島)	阪神地区	京阪地区	その他
構成比 (%)	55(31)	8	34	3

(同地区別就職状況)

鹿児島大学法学会

法政策学科には、鹿児島大学法学会と呼ばれる組織があります。この組織は、法政策学科の学生と教員によって構成されているもので、講演会を企画・実施したり、学会誌の配布を行ったりしています。

個性・特色ある選抜方法

法政策学科の一般選抜は、分離分割方式で行われます。前期日程は従来の選抜方法を継続します。後期日程は、「センター試験」3科目（選択された2科目と外国語）と「面接」の組合せです。また、平成18年度より特別選抜として推薦入学IIが導入されています。

大学院

大学院人文社会科学部研究科には、法学専攻（博士前期課程）および地域政策科学専攻（博士後期課程）が設置されています。大学院を修了しますと、修士（法学）および博士（学術）の学位が授与され、中学・高校教諭の専修免許状（社会）の取得や、税理士試験科目の一部免除を受けることができます。

法科大学院

法科大学院（大学院司法政策研究科法曹実務専攻）は、専任教員16名（兼任・兼任教員27名）の徹底した少人数教育を行う「3年制の法曹育成教育機関」です。修了者には法務博士の学位と司法試験の受験資格が授与されます。

経済情報学科

育成しようとする人材

◎情報を創造的に活用することのできる人材

情報化の急速な進展の中で、情報処理技術に精通するとともに、情報を創造的に活用することのできる人材が求められています。そこで、ワープロ、表計算、プレゼンテーションなどのアプリケーション実習を課し、すべての学生が基礎的な情報処理技術を修得できるようにします。また、情報システムの管理者に必要なシステム管理の技術を学生の関心に従って学習させます。情報処理技術の修得を基礎に、経済学・経営学・社会学・政治学など幅広い知識を総合して、問題の解決や、よりよい意思決定を行うことのできる人材を育成します。



1、地域の発展に指導的な役割を果たすことのできる人材

経済社会の構造と仕組みは複雑化・高度化する傾向にあり、そこに生じる諸問題も多様で複合的なものとなっています。情報化・国際化など現代社会に特徴的な動向の進展の中で、南九州地域においても地域環境は急速に変化しつつあり、それにもなって解決しなければならない新たな諸問題が生じています。地域の課題を的確に把握し、地域の発展に指導的な役割を果たすことのできる人材を育成します。



2、企業の成長・発展に貢献するなど産業界で活躍することのできる人材

現代企業は経済社会においてきわめて重要な役割を果たしています。企業の動向は経済社会の状況に大きな影響を与えるものとなっていますが、経営環境が厳しく変化する中で、企業の経営はますます難しさを増しています。企業の成長・発展のためには、環境の変化に適応していくことが重要であり、幅広い知識をもつて的確に経営管理を実行し、企業の成長・発展に貢献できる人材を養成します。

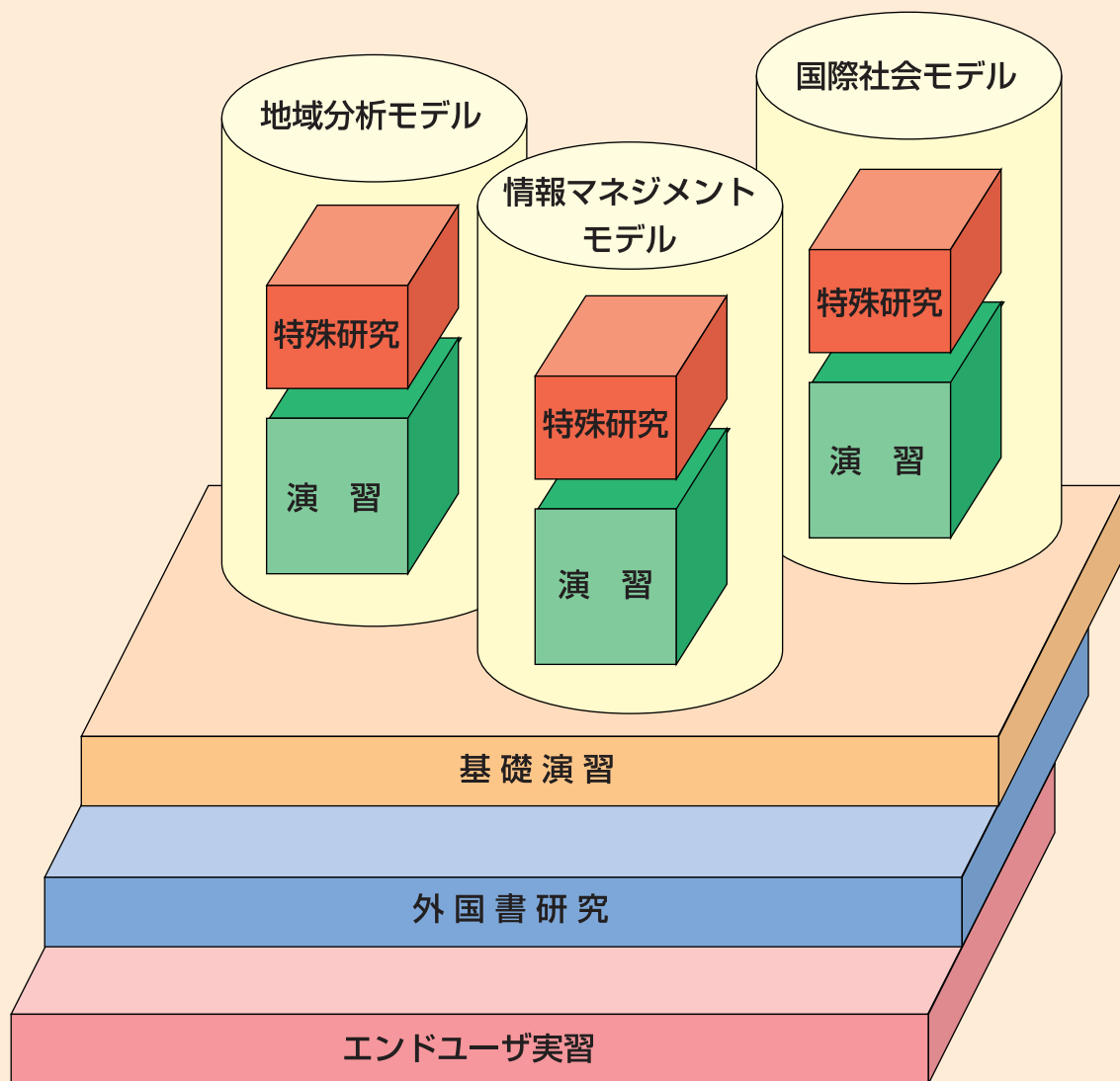


3、国際的視野からプロジェクトを企画し実行することのできる人材

南九州における国際貿易や地域企業の海外進出をはじめとする種々の企業活動において、また行政・市民レベルの国際交流の場で、従来から切望されていた独創的な企画立案能力・高度の実行力を持ちバランスのとれた国際感覚とコミュニケーションの能力をも兼ね備えた人材を育成します。



カリキュラムの見取図



教育の特徴

1. 3つの履修モデル

関心に応じて興味のあるモデルを選択することにより、常に問題の所在・問題の解決を意識しながら学習する態度を養成する教育システムが準備されています。

2. 少人数教育

1年次から10名程度のクラスを設定し、資料収集、レジュメ作成、報告、議論等を通じて、自分の頭で論理的に考える能力を養成します。

3. 情報教育

1年次から4年次まで段階的に情報処理教育を行ない、実社会で必要とされている情報処理能力を習得できるようにカリキュラムが構成されています。

4. 計画的履修

4年間の時間割を1年次に配付することにより、計画的かつ段階的な履修、将来を見据えた学習を進めることができます。

年次別取得単位の目安

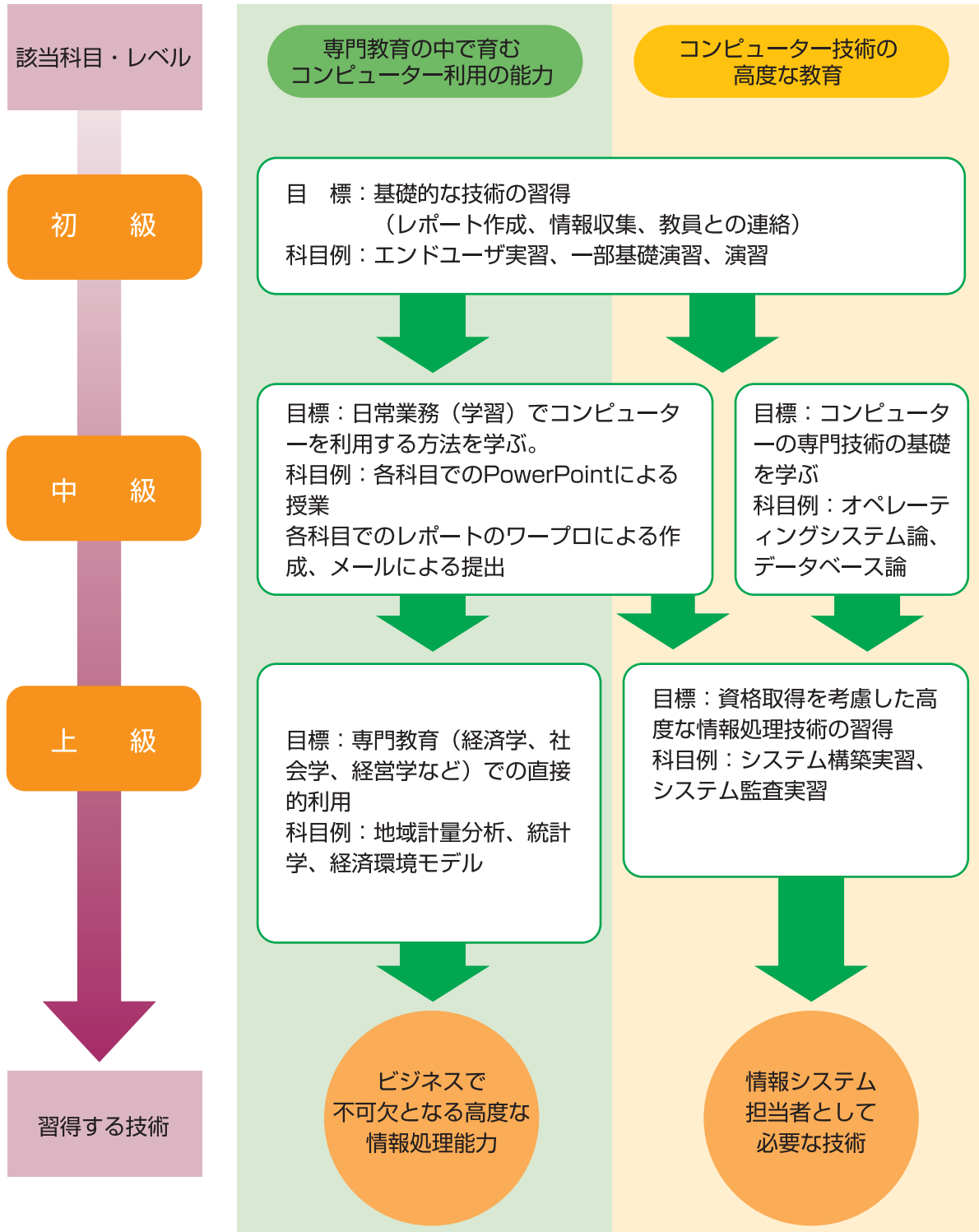
(数字は単位数)

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門教育 科目 94	必修科目 23	基礎 演習 2	演 習 8		特殊 研究 6
		エンドユーザ実習 3	外国書研究 4		
	選 択 科 目 (現代的ニーズ 科目を含む)	選択科目 46 ~ 58			
	自 由 科 目	自由科目 13 ~ 25			
共通教育科目 30		共通教育科目 30			

情報化社会にふさわしい技術の習得

本学科の情報教育は二本の柱から構成されています。

経済情報学科における情報処理教育



経済情報学科では、情報教育を「大学の専門教育における情報技術の利用」と「情報技術それ自体の体系的な習得」に分けています。

経済情報学科に入学して

1年 今村 彩乃

私が経済情報学科に入学したのは、就職に有利かもしれないという単純な理由からでした。しかしながら、経済情報学科の専門分野の講義はとても興味深く、経済学や社会学についてもっと知りたいと思うようになり、自分で少しずつ勉強をするようになりました。

経済情報学科では、一年次で、エンドユーザ実習というパソコンを使う上での基礎を学ぶ授業や、基礎演習という討論の仕方や、課題研究の仕方学ぶ授業を受けます。これらの授業では、二年次からの演習(ゼミ)に向けて必要な能力を身につけることができます。

また、大学生活は時間に余裕があります。だからこそ、積極的に様々なことに取り組んでいく姿勢が大事だと思います。私の場合は、経済学に興味を持ちはじめたので、鹿児島大学内のSCPという団体のエコプロジェクトに参加しようと決めました。自分の目標に向かって、大学の四年間を有意義に過ごしていきたいと思います。



講義風景

入学してからの1年間を振り返って

2年 渡辺 千里

大学に入学した最初は、高校までの学校のシステムとの違いに戸惑い、驚くことばかりです。高校までは学校から与えられた時間割で学んでいきますが、大学では自らが前期、後期それぞれに時間割を作成します。自分が学びたい科目を積極的に学ぶことができ、時間を有効活用できます。講義に出るとどの先生からも今までの受動的な態度を切り替えるように求められ、積極的に取り組む姿勢が自然と芽生えてきます。

経済情報学科では、一方で1年次に情報活用の基礎を学びます。他方、基礎演習という授業では少人数で討論をし、自分の考えをまとめて発表する能力についてのトレーニングを受けます。2年次になると、大学における学びの中心といえる演習がはじまりますが、そこで友人や先輩たちと討論するためにもその能力を培っておかなければならないからです。

経済情報学科では経済だけでなく経営や、社会、政治など幅広い分野についての講義が提供され、同時にパソコンや討論の技術を学ぶことができます。繰り返しになり

ますが、大学生活では積極性などが培われていくので、きっと卒業後の社会に必要な能力は十分に身に付くでしょう。



情報処理教育

学生生活の大切さ

3年 坂上 弘憲

大学を受験するみなさんにとって、大学はどのようなイメージでしょうか？大学では生徒でなくて、学生と呼ばれることについて考えたりしますか。私は2年生になり専門ゼミに所属するまで、その違いを体感的に理解できないでいました。

私たちのゼミでは夏休みを利用しての合宿研修が恒例行事となっています。昨年の合宿の場合、下甕島を訪れて島の自立度を高めるにはどのようにすればよいかについて、調査し討論しました。その合宿を通して、下調べをした知識とリアルな体験の場をつかみ取ることの違い。頭の中で構想したアイデアが、実際に行動に移してみるとうまくいかない立ち。これらの経験を積み重ねながら自分なりのものの見方を少しずつ身に付けていくから学生なんだろうと、納得しました。学生生活とは、先生たちの一方的な話しを受け身に書きとめる生活ではなく、とても面倒くさいのですが、学びの場で自分達が主役になれる唯一の機会ではないでしょうか。

まだ生徒の感覚にどっぷり浸かっている1年生から早く抜け出し、ちょっぴり専門的な匂いのする自分の見方に得意になれる機会を少しでも多く、そして長く経験することを強く進言します。学ぶことの大切さや楽しさを肌で感じながら、学生生活をエンジョイしてください。



演習風景

演習について

4年 前園 公美

経済情報学科では、2年次よりゼミ(演習)が始まります。ゼミとは、担当教員の指導のもと、みずからテーマをみつけて、資料収集や調査を行い、レポート/プレゼンテーション資料等を作成し、それらをもとにして他の学生や担当教員と討論する形式の講義です。ゼミの種類としては経済学、財政学、会計学、経営学、社会学など、多種多様なゼミがあり、自分の興味のある分野のゼミを選んで学ぶことができます。

ゼミでは、自分の興味のあることについて深く学べる上に、将来の社会で必要となる、問題解決能力、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力、文章作成能力などが養われます。またゼミの合宿やコンパを通じて、教員や同じ学年の学生、同ゼミの先輩・後輩はもちろんのこと、ゼミによっては他の大学の学生と交流を持つ機会も得られます。こうして広げた人脉は、社会に出てから大いに役立ちます。

このようにゼミでは、講義に出てノートを取っているだけでは得られない、社会に出てからのことを考慮した実践的な授業が受けられます。



実用英語

資格取得

中学校教諭(社会)、高等学校教諭(地理歴史・公民・商業)の免許を取得できます。

卒業後の進路

本学科には毎年、各種産業分野にわたる全国各地の企業等から求人があります。平成20年度の就職状況は下表のとおりです。

銀行・証券・保険会社が最も多く、次いで情報関連企業、卸売・小売業、公務員、サービス業などとなっています。JR九州やバスなどの運輸業に就職する人もみられます。また、最近、専門性をいっそう高めるために、大学院へ進学する人もいます。地区別では、およそ5割が地元(鹿児島)で、7割が九州となっています。

卒業生の進路

産業別	国家・地方公務員	金融・保険	製造業	運輸・通信	サービス業	卸売・小売業	その他	大学院
構成比(%)	7	38	7	18	7	13	4	6

(平成21年3月卒の産業別就職状況)

地区別	九州地区(鹿児島)	阪神地区	京阪地区	その他
構成比(%)	52(36)	5	41	2

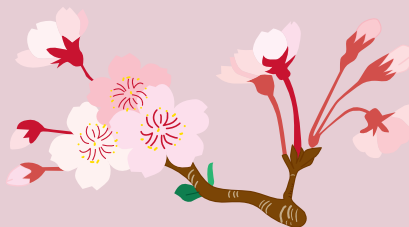
(同地区別就職状況)

鹿児島大学経済学会

経済情報学科には、鹿児島大学経済学会があります。これは、学会誌の配布や講演会などを通して、通常の授業を補い、また教員と学生の学問的な交流を図る貴重な場となっています。

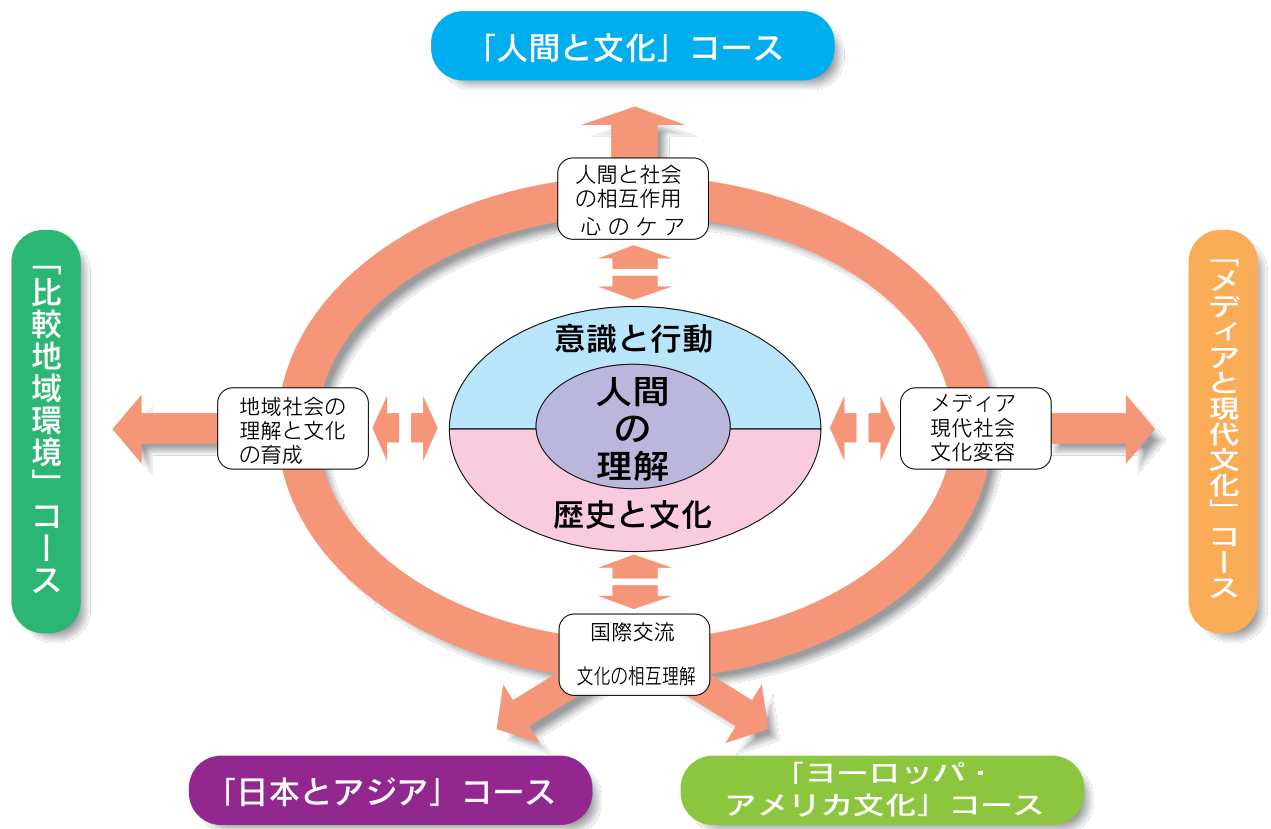
大学院

人文社会科学研究科に経済社会システム専攻(博士前期課程)が設置されています。国際化・情報化の進展のなかでの地域の変貌と国際社会との関わりを専門的に研究することができます。また、平成15年度に地域政策科学専攻(博士後期課程)が設置され、さらに高度な専門的研究を行えます。それぞれの課程を修了すると、修士(経済学または社会学)、および博士(学術)の学位が授与されます。教員免許状の取得や税理士試験科目の一部免除も可能です。また、両専攻とも社会人入試を実施しています。



人文学科

人文学科のキーコンセプトとコース編成



教育の概要

人文学科には、「多様化」「高齢化」「情報化」「地方分権化」「国際化」という時代の流れに沿って、5つの教育コースが設けられています。入学後の1年間は、全員人文学科生として共通教育科目を中心に受講しますが、並行して人文学科の専門分野についても広く学びます。2年次から各人の志望（定員を超えたコースでは選抜）によって5つの教育コースのいずれかに所属し、専門分野を定め、自分の所属する教育コースの授業科目や、自分の関心のある授業科目を受講し、幅広く学びます。卒業時には、4年間の学習の成果を、卒業研究（論文あるいは研究レポート）として提出します。卒業研究では、指導教員と相談して研究テーマを定め、教員のアドバイスを受けながら、自分の力で研究をすすめます。1つの研究を自分で成し遂げたという達成感は、皆さんに自信を与え、一生忘れられない思い出ともなります。

各教育コースの特色

人間と文化コース

社会、環境、文化など多様な視点から人間を科学的に理解し、広い視野を持つ高度職業人に資する人材の育成をめざします。その実現に向け、心理学研究法や心理学統計法、社会心理学や臨床心理学などの専門科目とともに、心理学実験などの実習科目を開設し、人間の意識や行動を体系的に学ぶカリキュラムが構成されています。なお、本コース卒業生は（社）日本心理学会の認定心理士の資格を取得することができます。

メディアと現代文化コース

高度情報化社会に対応し、マスメディア・広告・広報関連などで活躍できる文化的・創造的人材の育成をめざします。メディア論、言語学、文化論などの現代人文科学の視点からの教育研究と、パソコン・ネットワーク機器、映像機器、音声分析器などを利用した実践的教育を行います。

比較地域環境コース

異文化を理解し、柔軟で豊かな思考と行動力をもった、地域社会や国際社会に貢献できる人材の育成をめざします。地理学、考古学、民俗学、文化人類学、宗教学、地域研究などの領域から、自然、歴史、文化にかかわるフィールドワークを通して多様な「地域」を理解することを目指します。また、博物館や美術館の学芸員の育成も行います。

日本とアジアコース

日本文化の国際社会への再発信と、アジア諸国との文化交流を担える人材の育成をめざします。東南アジア文化圏の文化的接点である鹿児島県の地理的条件をふまえて、日本史、日本文学・語学研究による日本文化の再認識、中国などアジア諸国の歴史・文化・言語についての理解の深化と言語修得、歴史資料管理・情報処理の技術・資格修得などの教育研究を行います。

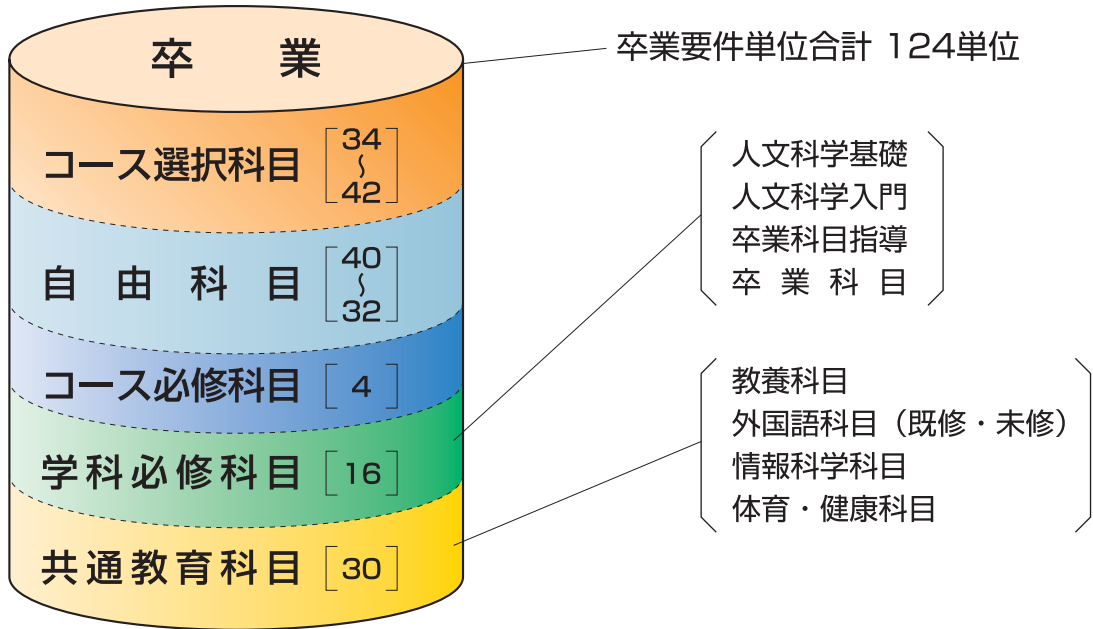
ヨーロッパ・アメリカ文化コース

国際的な視野をそなえ、かつ現代の文化摩擦を克服し、国際文化交流に資する人材の育成をめざします。英語・ドイツ語・フランス語の会話能力の修得、欧米の思想や文化の比較研究、世界的なネットワークをつうじた各種データからの資料収集・解析を通して、ヨーロッパ・アメリカ地域の言語・文化・歴史・思想を多角的に教育研究します。

大学院への進学

大学院人文社会科学研究科には、人文学科を基礎とした博士前期課程（人間環境文化論専攻・国際総合文化論専攻）と博士後期課程（地域政策科学専攻）が、また専門職大学院として臨床心理学研究科が設けられており、学部卒業後さらに高度の知識・技能を修得することができます。

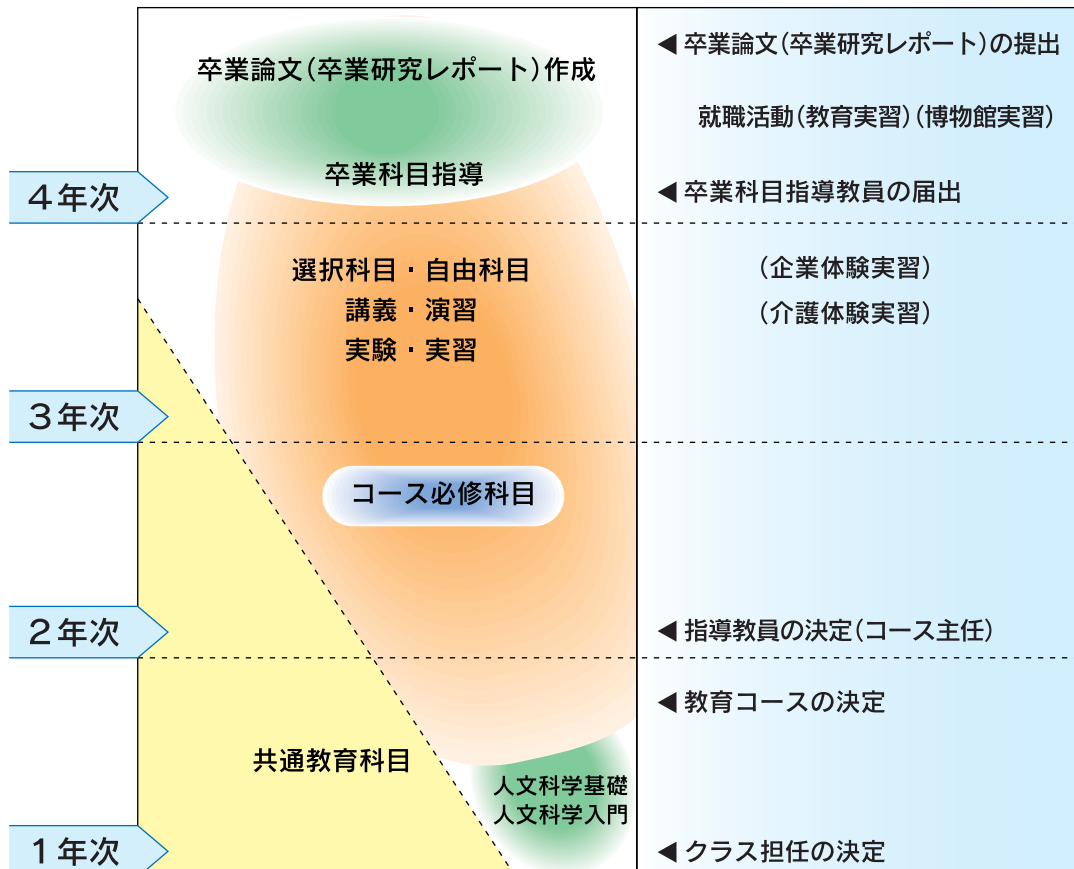
卒業要件単位



*現在、人文学科では教育改革が進行中であるため、平成22年度より卒業要件単位の内訳が若干変更になる可能性があります。

年次別履修計画

人文学科では、1年次に人文学科の基礎的な学力を、2年次以降の講義・演習・実験・実習等を通して幅広く各分野の専門的知識と応用力を身に付けることができます。



開設される授業科目

学科必修科目

人文科学入門、人文科学基礎、卒業科目指導、卒業科目

現代的ニーズ科目

マスコミ論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、キャリア科目、キャリアアップ科目、南島の視点から世界を見る

人間と文化コース

心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、人間関係論、臨床援助論、コミュニティ援助論、生活環境論、比較行動心理学、認知心理学、臨床心理学、人格心理学、社会心理学、発達心理学、学習心理学、児童文化論、臨床援助論演習、臨床心理学演習、生活環境論演習、比較行動心理学演習、認知心理学演習、心理学外書講読、心理学実験、心理学基礎演習、精神医学、心理学特講

メディアと現代文化コース

メディア論入門、メディアと現代文化ワークショップ、現代文化論、現代メディア文化論、文学メディア論、映像文化論、言語と文化、言語構造論、社会言語論、ことばの科学、大衆文化論、現代文化論演習、現代メディア文化論演習、言語と文化演習、社会言語論演習、大衆文化論演習、メディアと文化演習、文化リサーチ演習

比較地域環境コース

フィールド学、比較地域環境論、人文地理学概説、自然地理学概説、地誌学講義、テーマ地理学、テーマ地誌学、考古学概説、考古学地域論、先史社会論、物質文化研究、考古学講義、比較考古学、異文化交流論、比較民俗学、比較民俗学概説、比較文明論、比較民間医療論、比較口頭伝承論、文化人類学、比較宗教学、東南アジア地域関係論、博物館概論、博物館資料論、博物館経営情報論、視聴覚教育メディア論、地理学演習、考古学演習、比較考古学演習、異文化交流論演習、比較文明論演習、文化人類学演習、比較宗教学演習、東南アジア地域関係論演習、地理学実験、考古学実験、地理学野外実習、考古学実習、比較考古学実習、異文化交流論実習、比較文明論実習、文化人類学野外実習、東南アジア資料研究実習、比較宗教学実習、博物館実習、博物館実習事前事後指導

日本とアジアコース

国際文化論、日本国制史、日本文化史、日本社会史、日本史概説、日本学、日本文学史、日本古典文学、日本近代文学、国語学概論、日本語構造論、アジア文化史、アジア社会史、東南アジア地域関係論、東洋史概説、中国文学概説、中国文学、中国語構造論、アジア文芸様態論、アジアコミュニケーション論、都市文化論、歴史情報論、日本史演習、日本文学演習、日本語構造論演習、アジア史演習、中国文学演習、中国語構造論演習、アジア言語演習、日本・アジア歴史資料管理学実習、日本・アジア文学資料管理学実習、書道

ヨーロッパ・アメリカ文化コース

国際文化論、英語コミュニケーション、ヨーロッパ思想史、社会思想論、比較思想論、近代思想論、哲学概論、倫理学概説、美学芸術論、環境倫理学、生命倫理学、西洋思想基礎論、歴史情報論、西洋史概説、現代史論、地中海文化史、ヨーロッパ・アメリカ比較文化史、ヨーロッパ・アメリカ比較社会史、大西洋関係史、現代ヨーロッパ・アメリカ文化論、イギリス文学、アメリカ文学、イギリス演劇論、アメリカ小説論、英語構造論、英語学、異文化理解、ドイツ文学、ドイツ女性文学論、ドイツ語構造論、フランス言語芸術論、フランス言語文化論、ヨーロッパ言語文化論、社会思想論演習、近代思想論演習、比較思想論演習、西洋思想基礎論演習、ヨーロッパ・アメリカ史演習、現代史演習、ヨーロッパ・アメリカ史講読、現代ヨーロッパ・アメリカ文化論演習、イギリス文学演習、イギリス演劇論演習、アメリカ文学演習、英語構造論演習、英語学演習、ドイツ文学演習、ドイツ語構造論演習、フランス言語芸術論演習、フランス言語文化論演習、ヨーロッパ言語演習、ヨーロッパ・アメリカ歴史資料管理学実習

*現在、人文学科では教育改革が進行中であるため、平成22年度より授業科目が一部変更になる可能性があります。

人間を知ろうとすること

人間と文化コース 4年 森満 更代

人間と文化コースでは、心理学を学びます。主な研究分野として、比較心理学、社会心理学、臨床心理学、認知心理学があります。どの研究分野も、人間が人間を知ろうと積み重ねてきた探求の蓄積であり、学習意欲を掻き立てられる学問です。また、実験や演習といった実践的な学習を通し、論理的思考や臨機応変な対応が身に付きます。

3年後期からは、各ゼミに所属してより専門的理解を深めます。ゼミでは、先生やゼミの仲間と協力しながら、卒業論文に取り組みます。卒業論文を通して、仲間の大切さや達成感を学べるでしょう。また、懇親会やソフトボール大会を通し、コース全体の交流を深めています。

心理学を学んでも、「人の心がわかるようになる」わけではありません。ただ、人間への多様な視点を学べるという点で、人の心を理解する糸口が増えると言えるかもしれません。そして何より、人を理解するには、人を知ろうとする意欲、思い遣りが大事だと改めて実感させてくれる学問です。心理学を学ぶことで、学問的知識ではなく、生涯の精神的な糧を得られるでしょう。



認知心理学演習



社会言語演習

自分の「関心」と向き合おう！！

メディアと現代文化コース 3年 稲富 裕和

あなたは今、何に興味がありますか？何に楽しさを感じ、何に問題意識を感じますか？

アラフォー、婚活、タバコ、美容整形、マンガ……これは、今年のメディアと現代文化コースの卒論テーマです。このように私たちは、自分たちが抱いた身近な疑問や関心からテーマを選び、研究しています。コースの学生たちは、自分が興味を持っていることをそのまま研究テーマにするので、演習などでは仲間の多種多様なテーマに触れることができます。そこで行われる議論では、自分の考えをいかにわかりやすく、正確に伝えるかが問われるため、自己表現力を養うことにも繋がるのです。

メディアコースでは、メディア論、言語学、社会学、文化論などのいろいろな考え方を学び、自分の研究テーマを多角的に分析する視点を身につけることが出来ます。

みなさんも、このメディアコースで本当に自分が興味のあることを探してみませんか？

「体験から学ぶということ」

比較地域環境コース 4年 田中 佑樹

比較地域環境コースは、地理学や考古学、民俗学、人類学、宗教学などを学ぶことの出来るコースです。自然環境だけでなく、人間の文化や歴史といったものを広い視点で捉え、地域性というものがどういうものなのかということを解明するために日々様々なことに取り組んでいます。文献資料を利用した研究だけでなく、現地に出かけ、実際に自分の目や耳で学ぶフィールドワークにも積極的に取り組んでいます。

私の専攻する地理学では、特定地域の地形や気候といった自然現象は勿論、そこに根ざす人々の文化や、果ては経済活動まで、様々な事物を研究対象にしています。年に何度か行うフィールドワーク実習では、その土地の人々や自然とのふれあいから、事前研究ではわからなかった

まったく新しい発見や、とても貴重な体験をすることが出来ます。あなたも比較地域環境コースで、文字通りの『体験』をしてみませんか？



地理学野外実習

新しい発見ができる場所

日本とアジアコース 3年 伊藤 彩

日本とアジアコースでは、日本史、東洋史、日本語・日本文学、中国語・中国文学の四つの専門分野に分かれ、日本とアジアの歴史や文学などを学んでいます。講義を受けて知識を深めるとともに、演習や実習を通して実践力を身に付けています。

大学で専門的に日本とアジアについて学ぶといっても、中学校や高校で受けたような内容の授業の繰り返しになるのではないかと考える人がいるかもしれませんが、決してそんなことはありません。どの分野においても日々研究が進み、次々と新しい見解が発表されています。その内容が認められ、世の中に知られるようになるまでは長い歳月を要することになりますが、このコースでは、塗り替えられ、継ぎ足されようとしている事実をリアルタイムで知ることができます。教科書による学習が物足りなかった人でも、きっと満足のいく学習ができることでしょう。皆さんも、この日本とアジアコースで共に学習や研究を進めてみませんか。驚きの新しい発見があなたを待っています。



日本史演習Ⅴ



ヨーロッパ言語演習Ⅰ

「興味を諦めずに」

ヨーロッパ・アメリカ文化コース 3年 坂本 佳織

このコースでは実際に欧米での生活経験がある先生から講義や演習の授業を受けることで、その地域の文化を背景とした思想や言語、歴史についての様々な専門的知識を吸収できます。

私はヨーロッパ思想を中心に代表的な哲学者の考えを学んでいます。哲学というと難しいイメージがあるかもしれませんが、他者の思想について考えることは、自分の視野を広げ、物事を様々な方向から捉える力を与えてくれます。そしてまた、私はドイツ語の学力向上にも努めています。特に演習形式の授業では、ドイツ文化の特色についても触れながら、日常生活における表現を学び、習得することができます。そのためこのコースでは毎年多くの学生が様々な国への留学に挑戦しており、その際には先生や留学経験のある先輩が親身になって相談に乗ってくれます。

大学でしかできない深みのある授業を、先生や先輩との距離が近いこのコースであなたも一緒に受けてみませんか？

資格取得

下記の資格取得のための講義が設けられています。

資格の種類	免許教科
中学校教諭（1種）	国語・英語・社会
高等学校教諭（1種）	国語・英語・地理歴史・公民
学芸員となる資格	

「学芸員となる資格」とは、博物館や美術館などにおいて、専門職員として働くために必要とされる資格です。

卒業後の進路

人文学科は幅広い学問領域から成り立っていますから、進路も広範囲にわたっています。鹿児島県を中心に、主に九州地区において、教員・公務員・企業などの分野で活躍しており、また、医療機関の心理士、博物館、美術館の学芸員といった進路が人文学科の特徴としてあげられます。大学院に進学する者も多くいます。

卒業生の進路

産業別	教員	課税試験	金融・保険	製造業	運輸・通信	サービス業	読売試験	その他	大学院
構成比(%)	5	7	20	10	14	14	14	7	9

(平成21年3月卒の産業別就職状況)

地区別	九州地区(鹿児島)	阪神地区	京阪地区	その他
構成比(%)	59(38)	5	34	2

(同地区別就職状況)

大学院

大学院人文社会科学部研究科には、人文学科を基礎とした博士前期課程(人間環境文化論専攻・国際総合文化論専攻 定員13名)が設けられています。修了すると、修士(文学)の学位が授与され、所定の科目を修得すると、教員免許状を取得することができます。

免許状の種類	免許教科
中学校教諭（専修）	国語・英語・社会
高等学校教諭（専修）	国語・英語 地理歴史・公民

さらに、博士後期課程(地域政策科学専攻 定員6名)も設けられています。

臨床心理学研究科

平成19年4月に設置された臨床心理学研究科では、すでに日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院の認定を受けていますので、所定の単位を修得し、本専攻を修了後、その年の臨床心理士資格試験の受験資格を得ることができます。

平成21年度法文学部入学者選抜状況

一般選抜

学 科 名	入試日程	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法政策学科	前期	75	195	181	91	84
	後期	10	47	14	10	9
経済情報学科	前期	88	323	287	102	96
	後期	20	200	81	20	17
人文学科	前期	90	250	230	100	94
	後期	30	275	115	35	31
合 計	前期	253	768	698	293	274
	後期	60	522	115	65	57

特別選抜（推薦入学Ⅱ）

学 科 名	対 象	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法政策学科	全学科	10	37	37	10	10
経済情報学科	商業科等	7	9	9	7	7
	全学科	30	43	43	30	30
人文学科	全学科	35	83	83	35	35
合 計		82	172	172	82	82

（注）「商業科等」は、商業科あるいはこれに準ずる学科、もしくは総合学科

特別選抜（私費外国人学部留学生）

学 科 名	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
法政策学科	若干名	0	0	0	0
経済情報学科	若干名	4	3	2	1
人文学科	若干名	4	4	3	0
合 計		8	7	5	1

留 学

鹿児島大学では、世界15ヵ国・46機関と大学間学術交流を実施しています。これは主として異文化理解と外国語運用能力の研鑽を目的として行われるものです。

法文学部では、ドイツのミュンヘン大学や韓国の釜山大学校ルーマニアのブカレスト大学との学部間学術交流協定によって、毎年2名以内の留学生交換を行っています。この他、平成20年度には湘潭大学(中国)・全北大学校(韓国)などへ学生を派遣し、平成21年度にはシドニー工科大学(オーストラリア)、ミュンヘン大学(ドイツ)などに学生を派遣します。

こうした大学間協定に基づいた留学のほか、語学研修のため海外に赴く学生もいます。

平成19年度 31名

平成20年度 19名

※休学して、留学する者も含む。



学生生活支援

奨学金・授業料免除制度・学生寮

経済的に学生生活を援助する制度としては、奨学金と授業料免除の制度があり、法文学部の約5割の学生がなんらかの奨学金を受けています。

また、学生寮は、男子個室が月額4,300円、女子個室が月額4,300円です。

平成20年度 法文学部 奨学金受給者・授業料免除者数実績

日本学生支援機構奨学生	960名
その他の奨学生	57名
授業料免除者	279名



キャンパスの風景

CALENDAR

SPRING

4

入学式
新入生オリエンテーション
前期授業開始

5

6



SUMMER

7

前期末試験



8

夏季休業（～9月）

9

AUTUMN

10

後期授業開始



11

開学記念日（11 / 15）
鹿大祭

12

冬季休業（～1月）

WINTER

1

2

後期末試験

3

卒業式



在校生からのメッセージ

人文学科 4年 法村 貴昭

法文学部は法政策、経済情報、人文の3つの学科からなる学部です。そのため講義では、人文・社会系の学問の内容を幅広く学ぶことができます。自分が本当に学びたいことを見つけ出すことができます。私が所属する人文学科では1年次に共通教育や人文学の基礎を学び、2年次以降は5つのコースに分かれてその専門性を磨きます。とくに演習などの授業では、専門的な内容を学ぶだけでなく、先輩や友人との交流も盛んなため、仲間とともに学び、学生生活をおくるなかで、自分自身が人間的に成長していきます。

就職活動に関しても支援体制が整っており、学生は先輩方の生のアドバイスはもちろん、就活ゼミなどで教職員からも時期に見合った情報を得ながら活動しています。例年、全国の大手企業および地元鹿児島県の企業を中心に、様々な分野に多くの卒業生を輩出しています。どうか自分の目標と自己の成長を考え、悔いのない進路決定をしてください。鹿児島大学法文学部は、あなたの将来のために可能性にあふれる場所です。

人文学科 4年 上野 麻里奈

私が所属する法文学部人文学科では、2年次に自分の学びたい分野のコースに分かれます。入学時に自分の学びたい分野がはっきりしていなくても、1年間の多岐にわたる講義を通して、きっと自分の学びたいことにめぐりあえるはずです。また、コースに分かれてからも他学部・他学科の授業を受けることができるので、自身が専攻する分野だけでなく、周辺関連領域の知識を幅広く身につけることが可能です。コースの中では教授陣の指導のもと、同学年の学生や、先輩・後輩と協力して勉強を進める機会が多く、多くの友人を作ることができます。

就職活動に関しては、支援体制が充実しているので学部から豊富な情報を得ることができます。また、法文学部の授業の中で培われる知識やプレゼンテーション能力は就職活動の際にとっても役に立ちます。実際に法文学部の先輩方は教師や公務員、一般企業など、様々な分野で活躍されています。

最後に、後輩の皆様へ。学生生活は自分の将来の目標をしっかり立て、そこに向かって根気強く努力していくことが大切だと思います。自分自身の目標を達成するためにも、後悔のない進路選択を行なってください。鹿児島大学法文学部は私たちの目標達成をしっかりサポートしてくれる場所だと感じています。



STAFF

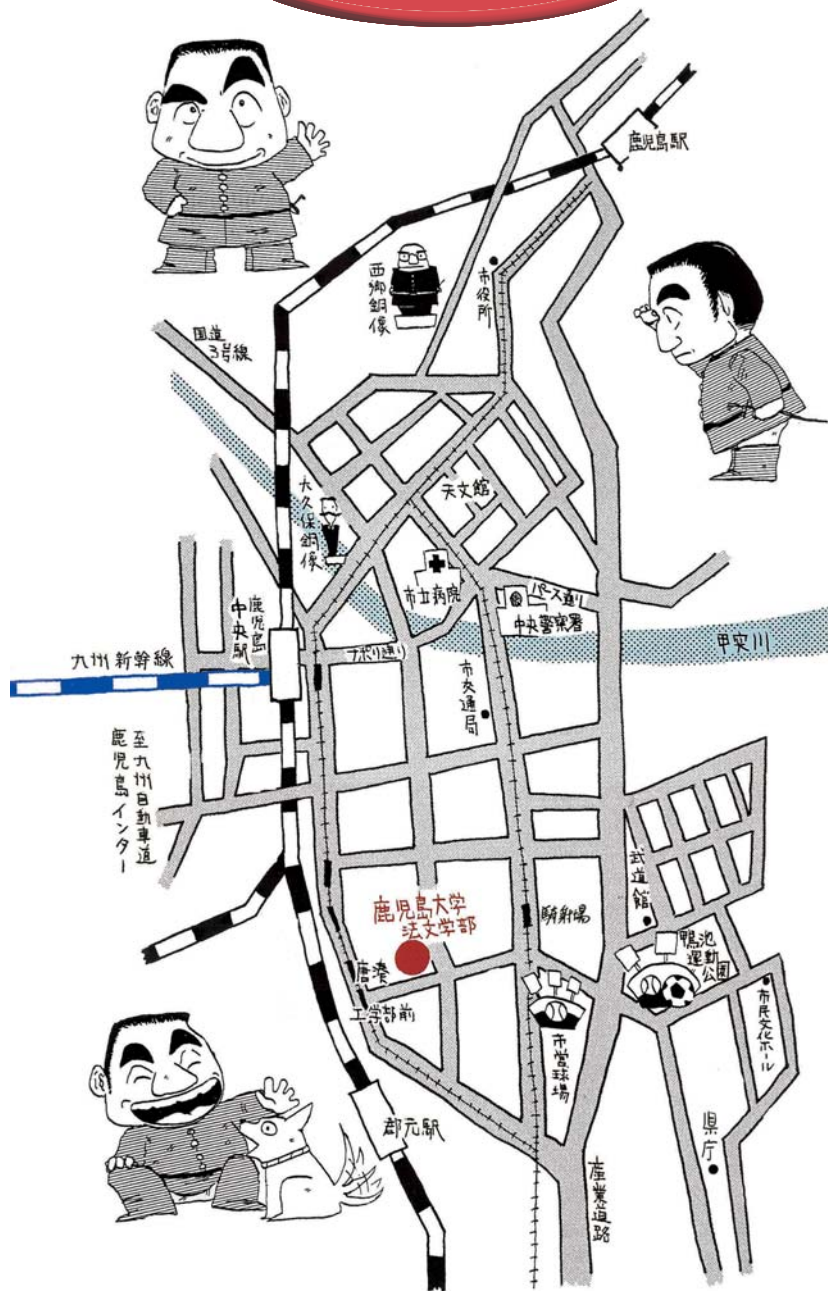
法政策学科教育研究スタッフ				
講座名	教員名		担当講義	研究内容
政策科学	教授	大森 健	租税法	株式評価の研究
	教授	岡部 悟朗	国家・自治体論	政治における理論と実際－ホップズを中心として－
	教授	木村 朗	国際関係論・平和学	原爆投下問題・民族問題を中心とする平和研究
	教授	日暮 吉延	現代政治外交論	戦後日米関係および外交政策決定過程の研究
	准教授	中村 達	産業政策	諸産業の育成・発展に関する政策手段の分析
	准教授	松本 俊一	自治体政策論	地方自治体の政策形成に関する研究
市民法	教授	泉 健子	刑法	「共犯と身分」について、身分犯概念の比較的研究
	准教授	相浦 聡	ドイツ語、外国書講読	18世紀ドイツ文学－ヴィーラントを中心として－
	准教授	植本 幸子	民法	アメリカ原状回復(不当利得)法
	准教授	大野 友也	憲法	先端科学技術の憲法学的統制
法交渉	教授	壹岐 道隆	外国書講読、外国語表現法	英国の言語と文化－D.H.ロレンスを中心として－
	教授	石川 英昭	法哲学	メタ法理論、現代中国の法観念
	教授	小山 憲明	外国語表現法、外国書講読	アメリカの言語と文化－N.ホーソーンを中心として－
	准教授	井上 知子	国際法	国際法と国内法の関係
	准教授	真砂 康司	国際私法	アメリカ抵触法

経済情報学科教育研究スタッフ				
講座名	教員名		担当講義	研究内容
経済システム	教授	渋谷 正	経済学史	古典派経済学の発展史
	教授	橋本 直樹	市民社会思想史Ⅰ、Ⅱ	市民革命期の比較思想史、唯物論的歴史把握の研究
	教授	金丸 哲	マクロ経済学	GDPや国民所得等を求める計算方式に関する研究
	教授	石塚 孔信	ミクロ経済学、地域計量分析	都市・地域経済のモデル分析
	教授	松川 太一郎	経済統計論、統計学総論、数理統計学	経済指数論
	准教授	永田 邦和	金融論、銀行論	金融制度・金融規制
経営情報	教授	上村 浩明	英語圏の社会事情Ⅰ	米国の社会事情と文化に関する研究
	教授	宮廻 甫允	経営管理論	組織における計画と統制システムの研究
	教授	藤重 義則	会計学総論、簿記システム論	会計における利益測定と計算構造の研究
	教授	萩野 誠	経営情報論	ネットワーク・マーケティングの実証研究
	教授	中島 大輔	ドイツ語圏の社会事情Ⅱ	ドイツ語圏の社会と文化、欧州統合
	教授	城戸 秀之	現代社会論	現代社会の理論的分析
	准教授	大前 慶和	経営戦略論	企業の社会性・環境ビジネス
	准教授	桑原 司	情報社会論、産業社会学	コミュニケーション論、シカゴ学派社会学の研究
	准教授	北村 浩一	管理会計論、原価計算論、会計情報論	企業予算を中心的対象とした管理会計研究
講師	市川 英孝	エンドユーザ実習	システム設計、評価に関する研究	
地域計画	教授	山田 誠	経済政策論	先進諸国の経済政策および地方財政の実証分析
	教授	平井 一臣	地域政治論、現代政治史	近現代日本の地域政治と社会運動の研究
	教授	北崎 浩嗣	地域計画論、農業政策論	自治体の地域計画と地域農業に関する研究
	准教授	朴 源	財政学総論	付加価値税に関する諸問題
	准教授	片桐 資津子	福祉社会学、家族社会学	少子高齢社会における家族と地域社会に関する実証研究
国際協力	教授	皆村 武一	国際経済システム論	戦後改革の比較研究、経済発展の比較研究
	教授	志賀 美英	資源経済学	鉱物資源問題に関する研究
	教授	長谷川 茂夫	ドイツ語圏の社会事情Ⅰ	ドイツ語圏の文化と社会の研究
	教授	西村 知	東南アジア経済論	東南アジア農村社会経済構造変化に関する研究
	准教授	山本 一哉	国際貿易投資論	東アジアの経済発展についての研究
	准教授	井原 慶一郎	国際カルチャーⅠ	英語圏の文化・社会事情の研究
	准教授	福山 博文	環境経済学	廃棄物問題の経済モデル分析

人文学科教育研究スタッフ			
コース名	教員名		研究内容
人間と文化	教授	富原一哉	比較心理学、神経科学、発達心理学
	准教授	横山春彦	認知心理学
	教授	井上佳朗	環境心理学、社会心理学、社会開発
	准教授	飯田昌子	臨床心理学、臨床援助論
メディアと現代文化	教授	櫻井芳生	メディア、現代文化、社会システム
	教授	竹内勝徳	大衆文化論、アメリカ文化、アメリカ文学
	教授	木部暢子	言語文化論、音声学、日本方言学
	教授	太田一郎	社会言語学、メディアとことば
比較地域環境	教授	石村満宏	人文地理学
	教授	森脇広	自然地理学、地形学、火山灰編年学
	准教授	本田道輝	日本考古学
	教授	新田栄治	東南アジア考古学、比較考古学
	教授	渡辺芳郎	異文化交流論、薩摩焼、近世考古学
	准教授	尾崎孝宏	比較文明論、社会人類学
	教授	桑原季雄	文化人類学
	教授	黒田景子	東南アジア史、東南アジア地域研究
日本とアジア	准教授	西村明	比較宗教学、宗教学人類学
	教授	原口泉	日本近世史
	教授	梶尾達哉	日本古代史
	准教授	金井静香	日本中世史
	教授	中島あや子	中古文学
	教授	廣瀬晋也	日本近代文学
	教授	丹羽謙治	日本近世文学
	准教授	内山弘	日本語学、日本中世文学
	准教授	大田由紀夫	中国近世史
	教授	伊藤宏明	唐宋政治社会史
	教授	高津孝	中国文学、中国文献学
	准教授	三木夏華	中国語学、中国方言学
准教授	中筋健吉	中国文学、中国語学	
ヨーロッパ・アメリカ文化	教授	寺邑昭信	比較思想論、哲学
	准教授	柴田健志	近代思想論
	教授	細川道久	カナダ史、イギリス帝国史
	准教授	藤内哲也	西洋中近世史、イタリア史
	教授	三輪伸春	英語史、英語辞書史
	准教授	大和高行	イギリス文学、近代初期英国の演劇
	准教授	スティーブン・コーダ	英語教育
	教授	梅内幸信	ドイツ・ロマン主義、童話の解釈
	教授	竹岡健一	19世紀～現代のドイツ文学
	准教授	與倉アンドレア	ドイツ文学・ドイツ語教授法
	教授	小澤晃	フランス文学、フランス語教育
	教授	梁川英俊	フランス文化史、フランス社会論

(平成21年5月1日現在)

KAGOSHIMA イラストマップ



法文学部に関する問い合わせは下記にしてください。

鹿児島大学 法文学部 学生係

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番30号

TEL (099) 285-7525 FAX (099) 285-3597

<http://www.leh.kagoshima-u.ac.jp/>

- JR鹿児島中央駅から市営バス「⑩鴨池港」行きを利用し、「法文学部前」まで約15分。
- 市電「工学部前」・「騎射場」電停下車徒歩約5分。
- JR指宿枕崎線「郡元駅」下車徒歩約10分。